

岡 歯 会 報



今月のHEADLINE

巻頭言 「英雄を求めず」

県歯告知板 岡山県歯科医師会会長選挙

第61回 中国地区歯科医学大会

厚生部 日歯福祉共済：今一度ご確認を！

〈p32〉 〈p12〉 〈p5〉 〈p1〉

2010 **12** vol.767

岡山県歯科医師会



目 次

巻頭言 「英雄を求めず」……………岡山県歯科医師会高梁支部 支部長 大塚 彰	1
厚生労働大臣表彰受賞	2
日本歯科医師会会長表彰 受賞	2
平成22年度 岡山県保健衛生功労者表彰	3
平成22年度 岡山県教育関係功労者表彰	4
県歯告知板 岡山県歯科医師会会長選挙のお知らせ	5
県歯報告 日本歯科医師会 会長選挙 選挙人選出抽選会	6
Open the 理事会	7
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日（12月・1月）	11
第61回中国地区歯科医学大会	12
平成22年度 第1回中国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会	12
記念式典及び功労者表彰式	18
学術講演	19
平成22年度 日歯生涯研修セミナー（併催）	19
岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会（併催）	19
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー（76）	21
社会保険部 第18回 社会保険部検討委員会報告	23
公衆衛生部 岡山県歯科保健研修会のお知らせ	24
第6回 摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会 初級コースを終えて	25
「第74回全国学校歯科保健研究大会」茨城県つくば市で開催	25
医療管理部 広島国税局管内税務指導者協議会	26
医療管理ニュース 労災保険における「HIV感染症の取り扱い」について	27
学術部 病診連携の講習会のお知らせ	27
第138回学術集談会のお知らせ	28
図書委員会 Book review	30
厚生部 共済事業部会 日歯福祉共済…今一度ご確認を！	32
支部モニター 津山支部	33
玉島支部	34
児島支部	35
倉敷・児島・玉島・都窪・吉備支部	36
新見支部	37
笠岡支部	37
リレー随筆 「達成感」 田村 彰規（玉島支部）	38
全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 岡山	39
訃報	40
会員異動	40
12月の収納金	40
10月 会の動き	41
12月・1月 本会の予定	42
12月・1月 支部の予定	43
こちら編集室	44

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙写真 「薄化粧」 真庭市
勝・英支部 浅野 征大 先生



「英雄を求めず」

岡山県歯科医師会 高梁支部

支部長 大塚 彰

今年のNHKの大河ドラマの「龍馬伝」が好評を博していますが、香川照之が演じる岩崎弥太郎が主役を喰う人気です。しかし、史実の弥太郎はドラマのように汚くないそうです。地べたを這い蹲るような生活から三菱財閥を築き上げていく様を視覚的に演出しているということです。高知にある岩崎弥太郎の生家も立派な建物で汚くはありません。歴史ドラマにはこのような演出上の嘘がよくあるのです。龍馬もたった一人で幕府を倒した男という表現は大袈裟でしょう。私たちは歴史上の人物には英雄であってほしいという願望を持ちますが、実際にはそのような人物は存在しないのです。幕末・明治維新は外圧による劇的な変化が強調されますが、そのエネルギーは鎖国中に長い時間をかけて発達した文化と経済が成熟していたところにあります。突然、文明開化が起きたわけではないのです。江戸の町は東京となり10年で大きく様変わりしたと言われますが、歴史の上では一瞬といえるこの時間も、その時代を生きる人々にとっては私たちの長い10年と変わりはありません。変革には時間がかかるのです。

これは現代でも同じです。近年の総理大臣の任期の短さには驚かされますが、自民党政権では安倍、福田、麻生と1年おきに首相が変わり、鳩山内閣に至っては1年も持ちませんでした。これは首相個人の問題なのでしょうか。個人を徹底的にたたけば、必ず欠点があります。スーパーマンのような人間が現われて難問を次々と解決していくような事はないのです。たった1年で日本の大改革ができなかったからといってすぐに責任論がでるのは酷というものです。今は誰が総理をやっても難しい時なのだから、みんなで支えていかなければ結果はでないのではないのでしょうか。

民主党の成し遂げた最大のマニフェストは政権交代ですが、これは当時の鳩山代表の功績でしょうか。これこそ、長年の間、とりあえず反自民で各勢力が力を合わせた結果の積み重ねではないのでしょうか。

私たちの歯科界を取り巻く状況は依然として厳しいですが、4月の社保改定では2.09%のアップ、参議院選挙では西村まさみ先生の当選と、一歩ずつ前進しています。選挙活動やランチプロジェクトなど、一つ一つの活動が小さな結果を出しています。一人の英雄が全てを一気に解決するのではなく、みんなで力を合わせて、会員一人ひとりが地道に活動して、少しずつ状況を改善していくことの積み重ねこそが歯科界の将来につながると私は信じています。

厚生労働大臣表彰受賞

真庭支部 原 武 仁 先生

平成22年11月6日(土)山形県で開催された第31回全国歯科保健大会に於いて、長年に亘る歯科保健事業功労者として、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

ご受賞を衷心よりお祝い申し上げ、今後益々のご活躍を心よりお祈り致します。

日本歯科医師会会長表彰 受賞

玉 島 歯 科 医 師 会

平成22年11月6日(土)山形県で開催された第31回全国歯科保健大会に於いて、長年に亘る歯科保健衛生の普及向上、改善および意識高揚等、実践活動に著しく貢献した功績により日本歯科医師会会長表彰を受賞されました。

ご受賞を衷心よりお祝い申し上げ、今後益々のご発展を心よりお祈り致します。



平成22年度 岡山県保健衛生功労者表彰

岡山県知事表彰

太 田 隆 温 先生 (倉敷支部)

石 戸 和 美 先生 (津山支部)

江 口 邦 成 先生 (御津支部)

平 岩 弘 先生 (岡山支部)

岡山県保健福祉部長表彰

石 田 元 久 先生 (玉島支部)

大 上 史 郎 先生 (倉敷支部)

林 勝 彦 先生 (玉野支部)

高 橋 久美子 先生 (笠岡支部)

能 勢 哲 彰 先生 (津山支部)

<受賞者名簿順>

11月11日(木)岡山県庁に於いて平成22年度岡山県保健衛生功労者の表彰が行われました。
永年に亙り保健衛生関係事業に貢献されたご功績により上記の先生方がそれぞれ受賞
されました。

このたびのご受賞を衷心よりお喜び申し上げますと共に今後益々のご活躍をお祈り申
し上げます。



平成22年度 岡山県教育関係功労者表彰

原 武 仁 先生 (真庭支部)

福 山 勝 久 先生 (勝・英支部)

萩 原 和 繁 先生 (津山支部)

大 瀧 洋 先生 (児島支部)

江 原 昌 弘 先生 (津山支部)

池 田 滋 樹 先生 (高梁支部)

岸 本 真 先生 (和気支部)

薬師寺 和 男 先生 (真庭支部)

川 上 純 生 先生 (笠岡支部)

<受賞者名簿順>

平成22年度岡山県教育関係功労者表彰に児童生徒の保健管理，健康増進に永年に互って尽力された上記の学校歯科医の方々が岡山県教育委員会から表彰されました。

このたびのご受賞を衷心よりお慶び申し上げますと共に皆様のご健勝と今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

岡山県歯科医師会会長選挙のお知らせ

選挙管理委員会

委員長 御 供 寛

来年は岡山県歯科医師会会長選挙が実施される年となります。選挙管理委員会では準備を着々と整えており、その概要をお知らせ致します。

1. 会長選挙日について

- | | |
|-------|---------------|
| ・投票日 | 平成23年2月27日(日) |
| ・投票時間 | 午前10時～午後5時まで |

- ・選挙公示日 2月7日(月)
- ・立候補の受付 2月7日(月)～2月9日(水)の3日間
- ・届出場所 本会事務局内選挙管理会（午前10時より午後5時まで受付）
- ・選挙運動 2月13日(日)～2月26日(土)まで

2. 投票区及び投票場所について

投票区	投票所	対象支部	人数合計
1	岡山市 (本会会館)	岡山 御津 玉野 瀬戸内 赤磐 和気	523
2	津山市 (津山歯科医療センター)	津山 勝・英 真庭	111
3	総社市 (吉備医師会館)	吉備 小田 井原 高梁 新見	103
4	倉敷市 (倉敷歯科医師会館)	倉敷 児島 玉島 都窪 浅口 笠岡	307
		計	1,045

(人数は平成22年10月30日現在)

3. 立候補を希望される方は

1月24日(月)～1月28日(金) (午前10時～午後5時まで) に必要書類をお渡ししますので本会事務局まで、ご本人または選挙事務長がお越し下さい。

詳細は「岡歯会報」1月号にてお知らせ致します。

日本歯科医師会 会長選挙 選挙人選出抽選会



日歯選挙規則第5章45条により、会員100名に1名の割合で日歯会長選挙人を選出します。したがって、岡山県歯科医師会では選挙人は10名となり、日歯会長選挙権を有している日歯代議員2名を除き、残り8名の選挙人を選出することになります。

平成22年10月28日(木)午後8時から、県歯会館5階大ホールにて日本歯科医師会 会長選挙 選挙人選出抽選会が開催されました。

当日は大嶋専務理事司会のもと、鈴木常務理事、伊丹常務理事、西田常務理事と御供選挙管理委員会委員長、萩原選挙管理委員会副委員長の立会いで抽選会は行われました。高原事務局長の点呼で、抽選順を決める1回目のくじ引きが行われ、引き当てた番号順に着席し、番号1番の先生から順に登壇し本抽選のくじ(封筒)を引きました。21名全員が引き終わり残りくじの無いことを確認した後、一斉に封筒を開け、下記の8名の選挙人が決定しました。

1. 永 澤 正 信 先生 (岡山)
2. 難 波 一 司 先生 (岡山)
3. 小 野 総一郎 先生 (岡山)
4. 田 頭 一 晃 先生 (岡山)
5. 大 村 満 晴 先生 (岡山)
6. 寺 門 恵 一 先生 (岡山)
7. 北 山 洋 一 先生 (御津)
8. 松 三 洋 夫 先生 (児島)

(日歯会員番号順)

Open the 理事會

羅針盤

会 長 酒井 昭則



日歯は各界の著名人、識者を集め「生きがいを支える国民歯科会議」を立ち上げ、さまざまな視点から今後の在り方について検討を重ね、成論を得たようである。このことを否定する訳ではないが、解決可能な具体的事案について、もっとスピード感を持って取り組むべきではないかと思う。現在の環境下、高い理想を掲げる事も大切だが、実現可能な事柄に的を絞り実行スピードを上げることが求められているのではないだろうか。実効性が低い理念や理想を掲げる事は現実逃避に繋がりがかねないし、目指す所が高ければ高い程、そこにかかわる人々の現実的責任感は希薄になる。

平成22年度 第23回
平成22年10月 7 日(木)
18 : 30 ~ 20 : 28

1. 会長挨拶

医師会主催の県民公開講座での池田理事の話は実直さが出て良い話だったように感じました。岡山県四師会の会合では、黒住副会長より歯科往診サポートセンターについて実のあるPRをして頂いたように感じました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 10月 1 日(金)
- (2) 社保 審査・検討小委員会 10月 2 日(土)
- (3) 社会保険部検討委員会 10月 2 日(土)
- (4) 文化事業部会委員会 10月 4 日(月)
- (5) 会館・広報合同小委員会 10月 4 日(月)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 日学歯 公益法人制度改革検討委員会
10月 1 日(金)
- (2) 第 8 回フォーラム「8020」 10月 2 日(土)
- (3) 岡山県医師会「県民公開講座」 10月 3 日(日)
- (4) 第 4 回岡山県保健医療計画策定協議会
10月 5 日(火)
- (5) 平成22年度社会保険指導者研修会
10月 5 日(火)
- (6) タイムスタディ調査の内容に関わる説明会
10月 5 日(火)
- (7) 県 健康推進課との面会 10月 6 日(水)
- (8) 岡山県四師会懇談会 10月 6 日(水)
- (9) 平成22年10月保険医療関係機関連絡会議
10月 7 日(木)
- (10) 第 2 回学校保健推進協議会 10月 7 日(木)
- (11) 岡山市歯科医師会三役と面談 10月 7 日(木)

- (12) 小児歯科医学会公開講座主催者 藤原長崎大
学教授と面会 10月7日(木)

〔その他〕

- (1) 検死 9月10日(金)

〔学院報告〕

- (1) 後期開始 10月1日(金)
(2) 推薦入試願書受付期間 10月1日(金)～15日(金)
(3) 臨床実習開始(52期2年生) 10月5日(火)
(4) 入試委員会 10月5日(火)
(5) 第4回校内模擬試験 10月7日(木)

〔事務局報告〕

- (1) 損保ジャパンより法人改革に伴う「共済制度」
の提案
(2) 患者(91歳)よりテレビ放映(歯の磨き方)
に関する意見

3. 行事予定

本会行事	56件
学院行事	8件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 笠岡歯科技工専門学校(学校長, 実行委員会)
より「歯科技工祭」の開催案内について

祝 電

日 時 10月24日(日) 10:00～16:00

場 所 笠岡歯科技工専門学校

- (2) 平成22年度岡山県学校保健会第3回理事会な
らびに表彰審査会の開催と出席依頼について

恵谷委員長出席

日 時 10月29日(金) 14:00～15:30

場 所 西村ビル 3階 会議室

- (3) 赤磐支部より支部新年会の開催と会長臨席依
頼について

保留・ある程度揃ってから

日 時 平成23年1月22日(土) 18:30

場 所 未定(岡山市内)

5. 閉 会(藤井副会長)

今日の視点(池田泰章)

社会と医療は大きく変化してきている。現在、日本は世界から「長寿の三冠王」と言われている。すなわち、高齢化率、平均寿命、高齢化のスピードにおいて世界一である。今まで歯科界は、カリエス、ペリオ中心に院内において歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士などによるチームプレーを行ってきた。超高齢化社会になり、これからは歯科医院に通院困難な方々が増加してくる。現在、医療は多職種連携、協働が言われている。そして、ひとりの患者さんとその家族を医療、介護、福祉、行政、地域などいろいろな方面から支えていく時代になってきた。口腔ケアで高齢者のQOLにかなげるため、介護の分野での歯科医師や歯科衛生士の役割はますます増加してくると思う。県民の方々の訪問歯科診療の認知度はまだまだ低いようである。歯科往診サポートセンターが、社会のニーズに応えるため9月にオープンした。行政、関連団体、介護施設などに実際に足を運び、ポスター・カードを配布し、インフォメーション活動を行ってきている。会員の先生方の御理解と御協力の程をよろしくお願いします。

平成22年度 第24回

平成22年10月14日(木)

18:30～20:10

1. 会長挨拶

伊丹常務が、基金審査委員の功績により10月19日東京で厚生労働大臣表彰を授賞されます。

オンライン請求が完成すると、都道府県歯会で

の審査も意味がなくなるように思います。オンラインですから、北海道のレセプトが沖縄に飛んでもコスト等は何ら変わらないのですから。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 10月7日(木)
- (2) 学術部正・副委員長会 10月12日(火)
- (3) 広報部編集小委員会 10月13日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 岡山県歯科保健優良校表彰事前審査会
10月8日(金)
- (2) もも丸出向 10月9日(土) 【和気】
10日(日) 【真庭】
- (3) 平成22年度九州・中国・四国地区歯科医師会
役員連絡協議会 10月9日(土)
- (4) 柚木みちよしを囲む医療関係者の集い
10月9日(土)
- (5) 摂食嚥下リハビリテーション従事者研修会反
省会 10月12日(火)
- (6) 第3回支部長連絡協議会 10月13日(水)
- (7) 日学歯 長野県学校歯科保健大会
10月14日(木)
- (8) 岡山県歯科保健優良校表彰等審査会
10月14日(木)

〔学院報告〕

- (1) 推薦入試願書受付期間 10月1日(金)～15日(金)

〔事務局報告〕

- (1) 国民文化祭開催に伴う交通規制について
- (2) 民主党 高井 崇議員の秘書2名が県議会議員選挙に出馬の挨拶

3. 行事予定

本会行事	54件
学院行事	8件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 日本小児歯科学会より第29回中四国地方会総会の開催と臨席並びに挨拶依頼について

毛利理事 出席

日 時 11月7日(日) 10:20～10:50

場 所 岡山県歯科医師会館

- (2) 岡山プライマリ・ケア学会より第18回岡山プライマリ・ケア学会学術大会開催に関する準備委員会の開催と出席依頼について

池田理事 出席

日 時 11月10日(水) 19:00

場 所 岡山衛生会館

- (3) 岡山県国民健康保険団体連合会より理事会の開催と出席依頼について

藤井副会長 出席

日 時 11月22日(月) 14:00

場 所 岡山県国保会館 4階 会議室

理 事 藤井副会長

- (4) 香川県歯科医師会より地域連携に関する資料提供依頼について

公衆対応 (サポートセンター関係資料送付)

- (5) 愛知県歯科医師会より会館新築に関するアンケート協力依頼について

事務局対応

- (6) 第9回岡山医療訴訟連絡協議会の開催と出席依頼について

藤井副会長 出席

日 時 11月24日(水) 16:30

場 所 裁判所大会議室

5. 閉 会 (黒住副会長)

今日の視点 (南 哲之介)

レクリエーション大会が30周年を迎えることとなり、文化事業部が記念大会の準備を進めている。時代の流れの中で開催形態は変遷してはいるが、

立ち上げ、継続してきた先達のご苦労と努力に敬意を表すると共に、末席に関わった者として感慨深いものがある。苦境にある業界にあって、今後とも会員相互の潤滑油として、本事業が発展的に継続していくことを願う。

平成22年度 第25回
平成22年10月21日(木)
18:30～21:06

1. 会長挨拶

先日新聞で、60歳の主人を亡くした奥さんからの投稿を読み、胸を打たれました。「尿瓶から、伝わる温もりそれさえも、夫を感じ切なく^{かな}愛し」先生方は今まで好き放題しておられるので、この様な気持ちで奥さんに接してもらえよう、今からでも遅くないので日頃の行いを悔い改めて下さい。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 10月14日(木)
- (2) 文化事業部会委員会 10月18日(月)
- (3) 医事処理小委員会 10月19日(火)
- (4) 公衆衛生部正・副委員長会 10月20日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業発表会 10月15日(金)
- (2) 岡山県歯科技工士国家試験委員会 10月19日(火)
- (3) 社保研修会 10月19日(火)
- (4) 日学歯 三役会 10月20日(水)
- (5) 個別指導 10月21日(木)
- (6) 岡山大学歯学部臨床教授 10月21日(木)
- (7) 母子保健計画評価検討会議 10月21日(木)

- (8) 中国四国厚生局と面会 10月21日(木)

〔学院報告〕

- (1) 推薦入試願書受付期間 10月1日(金)～15日(金)

〔国保報告〕

- (1) 療養附加金 窓口の1割 来週初めに発送
今年度限りで終わり

〔事務局報告〕

- (1) 東京海上日動 新所得補償保険の案内に来会

3. 行事予定

本会行事	56件
学院行事	7件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 青少年健全育成講演会の開催と出席案内について

毛利理事 出席

日 時 11月24日(水) 13:30～15:30

場 所 岡山県天神山文化プラザ

講 演 「いまどきの子どもたちの心理」

講師 精神科医 名越 康文 先生

- (2) 岡山市歯科医師会より忘年会の開催と臨席依頼について

酒井会長 出席

日 時 12月1日(水) 19:30

場 所 アークホテル岡山 3階 牡丹

- (3) 2010（平成22）年度 歯学部教授会忘年会の開催と参加依頼について

理事会全員出席

日 時 12月13日(月) 19:00～21:00

場 所 ホテルグランヴィア岡山

- (4) 日本禁煙科学会より第90回全国禁煙アドバイザー育成講習会の開催と後援依頼について

名義後援 承認

日 時 12月19日(日) 9:45～16:00

場 所 岡山大学 津島キャンパス

教育学部 本館 4 階 401 講義室

- (5) 中国歯科用品商協同組合より「2011年中国・四国デンタルショー」後援依頼について

承認

期 日 平成23年 4 月16日(土)～17日(日)

場 所 コンベックス岡山

- (6) 岡山県薬剤師会より「偽造処方せん」対策ポスターの配布依頼について

社保配布物に同封

- (7) 岡山市歯科医師会より会員情報の共有依頼について

承認

- (8) 大阪歯科大学岡山県同窓会支部長・役員連絡協議会の開催と会長臨席依頼について

酒井会長

日 時 11月12日(金) 20:00

場 所 岡山県歯科医師会館 5 階 大ホール

〔検討事項〕

- (1) 本会会館使用申込みについて

いずれも承認

①日時 12月12日(日) 9:00～17:00

主催 岡山市歯科医師会

②日時 平成23年 2 月13日(日) 9:00～17:00

主催 岡山市歯科医師会

③日時 平成23年 3 月 6 日(日) 9:00～17:00

主催 岡山市歯科医師会

5. 閉 会 (鈴木常務理事)

今日の視点 (横見由貴夫)

日歯福祉共済が揺れている。

本制度が始まった昭和31年以降、今日まで共済負担金の納入を継続した場合、その累積額は約370万円になるそう。因みに、私は昭和57年4月に入会しており、累積額は約292万円になる。会員が不幸にして亡くなった場合には、ご遺族に800万円の死亡共済金が支給されることになっており、現行のまま存続するのであれば満更捨てたものでもないように思う。「もしものことがあったら、日歯から800万円出るから」と家内には伝えてあるので、がっかりさせることのないようにと願っている。

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定
×印 閉館予定

	5日(日)	12日(日)	19日(日)	23日(木・祝)	26日(日)	29日(水)
12月	×	×	×	×	×	×
	～3日(日)	9日(日)	10日(月・祝)	16日(日)	23日(日)	30日(日)
1月	×	×	×	×	×	○
						10:00～16:00

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

第61回 中国地区歯科医学大会

平成22年度 第1回中国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会



平成22年10月30日(土)、ホテルグランヴィアに於いて、平成22年度 第1回中国地区歯科医師連合会「役員連絡協議会」が岡山県歯科医師会 大嶋敏秀専務理事の司会で開催されました。

1. 開催の辞

岡山県歯科医師会副会長 藤井 龍平

2. 挨拶

岡山県歯科医師会会長 酒井 昭則

ご出席の先生方におかれましては、お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。例年とは形式を変え、分科会と役員連絡協議会を別々に開催させていただきました。正しい情報を共有することが出来て初めて正当な議論を行えると思います。作為的ではないにしても個人的な感情が入ると事実誤認が生じてしまう可能性がありますので、65,000人の要望を質の高い見識で肌の感覚として感じていただきたいと思います。間違いのない正しい情報交換をして、この協議を実のあ
る物にして下さい。

3. 来賓紹介

日本歯科医師会会長 大久保 満男

盛大に開催された本会議に、ご尽力された先生方に御礼を申し上げますと共に、平素からの会の運営に関するご協力、合わせてお礼を申し上げます。

税制と指導監査に関する歯科会の問題が山積しています。西村議員に政権与党との調整役をかっていただ



き、指導に関しては有識者会議に歯科の検討委員を入れていただけるように働きかけをしていただいています。私どものしっかりとした考えを伝え、行政手続きに基づいた指導をしていただけるよう働きかけていきます。

日本歯科医師連盟会長 堤 直文

7月の参議院選挙に関しましては、ご協力を賜り、御礼を申し上げます。お陰様で、西村議員と共に今日の会議に出席できたことは、大変にうれしいことです。

税制に対する要請、「租税特別措置法」・「事業税」・「消費税」の3つの問題に関しましては、各県の歯科医師会で地区の国会議員に働きかけてください。6名の歯科医師が国会議員として先生方の生活を守る姿勢で取り組んでいますので、今後ともよろしく願いいたします。

参議院議員 石井 みどり

平素の議員活動に対し、中国地区の先生方には大変お世話になっています。

4年前の立候補した時には、広島だけでなく中国ブロックからの推薦をいただき当選させていただきました。ですので、この中国地区の会議は、里帰りのような不思議な感じがします。国会では、「保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」に関する問題がありますが、国会運営に問題があり、どうなるのかわからない状況です。平均点数上位8%の集团的個別指導や指導監査の問題も取り上げられていますので、今後の大きな課題として取り組んでいきたいと思っています。

参議院議員 西村 まさみ

7月の参議院選では、大変お世話になりました。選挙後は、毎週末2・3カ所からお招きをいただき、忙しく飛び回っています。日歯および連盟から出ている要望事項「租税特別措置法」・「事業税」の存続を訴え、いろいろ回りました。今回「歯科医療が国民の健康を担っている」また、「歯科の経営が非常に苦しい環境になっている」あるいは、「外部の有識者会議に歯科の検討委員をいれてほしい」などの要望等も伝えましたので、良い方向に向かっていると思います。政権与党の中で厚生労働委員会の委員として一歩ずつ先に進んでいきますので、今後ともよろしくお願い致します。

4. 来賓紹介

5. 出席者紹介

6. 議長・副議長選出

議長	岡山県歯科医師会会長	酒井 昭則
副議長	鳥取県歯科医師会会長	林 伸伍

7. 日本歯科医師会報告

日本歯科医師会専務理事 村上 恵一

8. 日本歯科医師連盟報告

日本歯科医師連盟 会長 堤 直文

9. 報 告

(1) 事務引き継ぎについて (広島県・岡山県)

・平成21年度中国地区歯科医師連合会事業及び収支決算について

平成22年6月26日(土) 松山市にて

(2) 平成22年度中国・四国歯科医師会連合会表彰について (岡山県)

【被表彰者氏名 (敬称略)】

【鳥取県】 福島佑二 永瀬 隆

【山口県】 福田 豊 石田雅司 平原孝昭 城島 浩

【島根県】 石橋和子 浜名宏二 斉藤 博

【広島県】 出崎邦彦 赤瀬正之 榎林正夫 玉川 博
徳久行夫

【岡山県】 井上浩一 御供 寛 平岡正隆 岡本賢治

(3) その他

10. 協 議

(1) 在宅における委員会活動に対する費用弁償について (岡山県)

現在、日歯・各県歯共にボランティアの範囲で行われている。今後の課題として検討していく。

(2) その他

・広報・社保・学術・医療管理 各担当者連絡協議会よりの報告

・集団的個別指導の対応について

11. 閉会の辞

岡山県歯科医師会副会長 黒住 正三

..... 広報担当者連絡協議会



平成22年10月30日(土)、ホテルグランヴィア岡山において標記協議会が開催されました。岡山県歯科医師会広報部中村慶男委員長の司会で始まり、岡山県歯科医師会鈴木聖次常務理事の開会の辞に続いて日本歯科医師会小谷田 宏常務理事から来賓挨拶がありました。報告を兼ねた挨拶の中では、11月3日(水)に開催される「生きがいを支え

る国民歯科会議」のシンポジウム（テーマ＜食べる・生きる・幸せ噛みしめる＞）、「国民歯科医療のあるべき姿委員会」、新聞広告、テレビCM、「よ坊さん」DVD製作、日歯ホームページリニューアル、ベストスマイルオブザイヤー・フォトコンテスト等について説明がなされました。出席者紹介後、座長に鈴木聖次常務理事を選出し協議に移りました。

協議は事前に出された8題について活発に行われました。最も注目されたのはキャラクターの活用についてでした。現在、日歯では「ご当地よ防さん」を推奨していますが、鳥根県では「ご当地よ防さん（背景に出雲大社＋よ防さん）」と「歯ッピーおろち君」というオリジナルキャラクターがあり、その使い分けに苦慮しているとのこと。広島県（背景に宮島）や山口県は「ご当地よ防さん」を、岡山県では「もも丸ファミリー」というオリジナルキャラクターを活用しています。日歯の小谷田常務理事からは、どちらかでないといけないということではなく、各地域で愛され広報活動の一助となるキャラクターが育つことが大切だとの見解が示されました。実際の活用状況では、「もも丸ファミリー」のTV番組、DVD配布、着ぐるみ出演、紙上間違い探し、プレゼントシールなど、岡山県歯の取り組みが群を抜いており、その内容には大きな関心が寄せられました。また、山口県歯の役員の方から「岡山にいる知り合いの子が“もも丸の歌”を歌っていた」という話が紹介されるなど、すでに県民に浸透しつつあることが感じられました。

会誌、HP、新聞紙への広告などについてはどの県も概ね同様の状況のようで、とくに掲載ネタの行き詰まり、HPへのアクセス数の減少に苦慮しているようです。日歯HPでは、継続したコンテンツの充実と関係者へのメルマガ普及の効果からか、アクセス数が増加しているとのことでした。

学校関係や公開講座関係では、公衆衛生部や学術部などとの兼ね合いが各県で多少の相違があるようです。鳥根県、鳥根県からは県民により近づき、より本音の部分を引き出そうとする姿勢が紹介されました。

同様の仕事に従事するもの同士ならではの、充実した協議会でした。

（副委員長 大森 潤）

社会保険担当者連絡協議会

日本歯科医師会より渡辺三雄常務理事をお迎えし、現況の報告を頂いた。

その後、下記の項目について協議を行った。

1. 集团的個別指導における日歯の見解について
2. 個別指導の実施状況について
3. 県平均点数の算出方法について
4. 電子レセプトの進捗状況について
5. 電子レセプト請求の免除・猶予について



(理事 小林清司)

学術担当者連絡協議会

開会の辞を本県の藤井龍平副会長が述べられた後、日本歯科医師会、江里口彰常務理事が来賓挨拶をされた。次に出席者の自己紹介が、鳥取県、山口県、島根県、広島県、岡山県の順番に行われた。

藤井副会長が座長に選出され、12の協議題について各県の現状等を含めて報告・協議、その後日歯の江里口常務理事からコメント・補足がなされた。「高速通信回線の活用によるWeb会議について」（鳥取県）では、現在実験中の県もあったが、インフラの整備不足、費用対効果の面でまだまだ不十分であり、これからの課題であることが示唆された。岡山県から提出の「Eシステムの活用法、会員への周知・徹底について」「救急薬品の斡旋・使用法の説明会、救急蘇生講習会の各県での対応について」に関しては、各県とも同様な課題を抱えており、協議題が重複していた。それぞれに有効な資料を作成している県もあり、情報交換や協力が必要であると思われた。また、「図書室の利用状況、利用活性化のための工夫について」（岡山県）という議題に対しては、図書施設のない県もあり、HPを



底について」「救急薬品の斡旋・使用法の説明会、救急蘇生講習会の各県での対応について」に関しては、各県とも同様な課題を抱えており、協議題が重複していた。それぞれに有効な資料を作成している県もあり、情報交換や協力が必要であると思われた。また、「図書室の利用状況、利用活性化のための工夫について」（岡山県）という議題に対しては、図書施設のない県もあり、HPを

利用している県もあった。日歯図書館には、各出版社からの寄贈によりほとんどの書籍が揃っており、日歯の情報部で会員への図書の貸出しも出来るとの事であった。「他科との連携～特に歯周疾患の状態を端的に表す指標について」（島根県）では、医科と歯科で連携するために歯周疾患の現状を簡単に、的確に示す共通言語（指標）が今の所ないため、日歯や歯周病学会が中心となり、早急に指針を出してもらう必要性を痛感した。

最後に、「会員のために、中国・四国で情報を共有する必要性を述べた。また、『ロバを水のみ場に連れて行くことはたやすいが、水を飲ませることは困難である。』との故事から、Eシステムを始めとして会員に周知するための方法、工夫についても、みんなで協議し、中国・四国地区が連携を深めることは今後も必要である。」と私が締めくくり、閉会となった。

（理事 毛利行雄）

.....医療管理担当者連絡協議会.....

医療管理担当者連絡協議会は、日本歯科医師会より山口勝弘理事が来賓として出席され、ホテルグランヴィア岡山「櫻」で開催された。当番県である岡山県歯科医師会南 哲之介理事の司会で始まり、西田宜可常務理事の開会挨拶、山口勝弘日歯理事のご挨拶のあと、座長に同医療管理部 本郷弘委員長を選出し、協議が進行された。

協議題は8題が提出され、各県におけるいわゆる歯みがきサロンや医療広告違反お



よび医療監視の実態とその対応、未就労歯科衛生士の復職支援研修システムの有無、新卒歯科衛生士の平均給与等について活発な意見交換が行われ、岡山県歯科医師会が協議題として提出した「医療提供体制推進事業費予算」についての情報を早期に提供して頂きたい旨、日歯に要望した。また、山口勝弘日歯理事には、各々の協議事項に於いても貴重な助言・提言を頂いた。

今回も多岐にわたる協議が行われ、今後とも各県とより一層の緊密な情報交換と情報共有を行い、連携を深める必要性があることが示唆された。

（副委員長 西田明弘）

記念式典及び功労者表彰式

(ホテルグランヴィア岡山)

10月30日午後4時50分よりホテルグランヴィア岡山4階「フェニックス」にて、記念式典及び功労者表彰式が執り行われた。藤井龍平大会副委員長の開式の辞の後、物故会員に黙祷が捧げられ、酒井昭則大会委員長の式辞が述べられた。続いて大久保満男日歯会長から祝辞を頂き、祝電披露、来賓紹介が行われた。

中国・四国地区歯科医師会連合会表彰では、岡山県から、井上浩一先生（岡山支部）、御供 寛先生（岡山支部）、平岡正隆先生（岡山支部）、岡本賢治先生（井原支部）の4名の先生方が長年にわたる業績に対して晴れの栄誉を受けられた。

その後、黒住正三 大会副委員長の閉式の辞にて滞りなく盛会裡に終了した。



第61回中国地区歯科医学大会

平成22年度 日歯生涯研修セミナー（併催）

岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会（併催）

第1講演：再生医療「骨形成」～そのメカニズムと有効性～

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授

山口 朗 先生

講演の最初に提示されたのは、ご自分の口腔内写真とレントゲンでした。下顎の大白歯部の骨欠損にエムドゲインを使いたくない。自分は歯科の臨床は携わっていないが、臨床の現場で良いと言われていても、骨細胞生物学的エビデンスのないものは使って欲しくないというお話でした。

逆に講演では触れられませんでした。前歯にはインプラントのブリッジが入っていましたので、インプラントのオッセオインテグレーションは、先生も認められているのだと思いました。

本論は、従来単なる運動・支持器官と考えられていた骨組織は、ホルモンを産生する内分泌器官だと分かってきたというお話から始まりました。骨の形成と吸収のメカニズムを細胞レベルで解説されました。形成は間葉系幹細胞が、吸収は造血幹細胞に由来しているそうで、今回の講演の中心は間葉系幹細胞の分化についてでした。

骨形成の主役は骨芽細胞で、間葉系幹細胞から分化する過程でRunx 2 という転写因子が必須であることが分かってきました。このRunx 2 の発現を誘導している物質が、Bone morphogenetic Protein (BMP) とよばれるサイトカインだそうです。

このBMPによる骨再生療法の開発と問題点についても講演されました。現在20種類以上のBMPが知られているが、ヒトにおける骨再生に有効なものはBMP-2で、大腸菌を利用し、遺伝子組替技術により作成されているそうです。骨髓から間葉系幹細胞を採取する事はなかなか困難なので、歯科医師にとっては、口腔内粘膜から採取した繊維芽細胞にBMP遺伝子を発現させ、それを骨欠損部に移植することで、骨再生を誘導できるようになれば臨床応用がしやすくなるだろうと述べられました。

さらに先生は歯と歯周組織の再生療法にも最後に触れられました。「岡山大学や東京理科大学等で研究がすすんでいるが、自分が生きている間に臨床応用できることは難しいのではないか」というお話で講演を終了されました。



（副委員長 小野総一郎）

第2講演：「オールセラミックレストレーション～CAD/CAMはどこまで使えるか～」



東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授

三浦 宏之 先生

午後からは、三浦教授が上記のテーマで講演された。最近ではCAD/CAMによる加工精度の向上により、高強度のジルコニア系材料が使用可能となり、オールセラミック修復物の強度に対する信頼性も高まってきたことで、審美性・アレルギー回避の観点から多くの臨床に取り入れられている。講演では、オールセラミックレストレーションの各種材料の種類と特性について、特にジルコニアを使用する上での①

支台歯形成②フレームの調整③フレームデザインなど注意点を詳細に述べられた。ジルコニアでも、P-ナノZRは高い曲げ強さと靱性値からさらに臨床応用が容易になることを示された。さらに今後の展望として、口腔内スキャナーの開発も進んでおり、印象採得もデジタルで行える様になり患者の負担も軽減できると話された。オールセラミック修復を臨床に取り入れる上で述べられた注意点は、大いに役立つ内容であった。

以下にその要約と注意点を示す。

＜P-ナノZRを応用したオールセラミック修復の特徴＞

今までのイトリヤ系のジルコニアに比べて破壊靱性値が3倍で、低温劣化が起きないという優れた特徴がある。その結果、

- ①イトリヤ系ジルコニアに比べてフレームワークを薄くできる
- ②舌側などは口腔内に露出させても問題ない
- ③フレームにサポート形状を付与できるので陶材のチッピングが起きにくく、メタルボンド同様の形成ができる

＜メタルフリー修復における支台歯形成・窩洞形成のポイント＞

- ①確実な接着操作を行うこと
- ②適切な支台歯形成を行なうこと

＜メタルフリー修復のための支台歯形成における一般的な注意点＞

- ①形成面を滑沢にし、アンダーカットを作らない
- ②隅角部を曲面に仕上げ、鋭利な部分を残さない
- ③マージンはショルダー部から軸面にかけて曲面で移行するラウンデッドショルダー形態とする
- ④修復物が均一な厚みになるようにする

＜ジルコニアオールセラミックブリッジ支台歯形成のポイント＞

基本的にはオールセラミッククラウンの支台歯形成に準じる

- ①咬合面展開角は120°～140°とし、テーパは片側6°以下にしない。6°以下になるとレーザースキャン時にエラーとなる。
- ②前歯切縁の厚みを0.9mm以下にしない。これ以下だとミリングバーの太さが1.0mmのためエラーとなる
- ③ジルコニアフレームの厚みは最低0.4mm、ポンティック連結部のジルコニアフレームの面積は最低9～11mm²（3×3mm）必要である
- ④隅角は必ず丸め、曲面に形成する

（委員長 清水裕雄）

Monthly Dental News Review (76)

平成22年

10月14日(木)

▶ 2010年度上半期
医療機関の倒産

歯科は6件、負債8.6億円

帝国データバンク調べ 前年同期比1億2千万円の増

帝国データバンクの集計によると、2010年度上半期(4～9月)の歯科診療所の倒産件数は6件、負債総額は8億6200万円、前年度同期に比べ、件数では1件少ないものの金額は1億2200万円多くなっている。

前年度の歯科医院の倒産件数は12件、負債総額は9億9400万円となっており、件数的にはほぼ前年度と同程度、金額的には上回るものと推測される。件数が10件を超えれば3年連続となり、01年度以降では初めて。

15日(金)

▶ 平成22年度4～5月
歯科医療費動向

プラス改定下回る伸び率

厚労省発表5月の伸びが鈍化

平成22年度4～5月の歯科医療費は前年同期比1.8%の増に留まり診療報酬改定率プラス2.09%を下回ることが厚労省の「医療費の動向」で分かった。医療費全体では3.8%と、全体の改定率(診療報酬本体)の1.55%を大きく上回る伸びとなった。歯科医療費の伸び率は4月が2.2%と改定率を若干上回ったが、5月は1.5%と伸びが鈍化した。

21日(木)

▶ コレステロール
高めが長生き

科学的な根拠がない

脂質栄養学会の
ガイドライン 日医らが批判

日本医師会(原中勝征会長)と日本医学会(高久史磨会長)、日本動脈硬化学会(北徹理事長)は20日、東京・駒込の日医会館で共同会見を開き、「コレステロールは高めが長生き」とする日本脂質栄養学会が策定した「長寿のためのコレステロールガイドライン2010年版」を科学的な根拠がないなどとして真っ向から批判した。

▶ 歯科助手は無資格者 厚労省・国民の声

歯科助手に対する業務範囲の確認を求める質問が厚労省の「国民の皆様の声」に寄せられた。18日に発表された8～14日受付分の中に入っていたもの。

対応として看護課総務係は、「一般的に歯科助手と呼ばれる方々は、無資格者であるため、歯科医師業務、歯科衛生士業務は行うことはできず、診療所の受付や器具の洗浄など一般雑務に限られる」旨の説明をしたとしている。

10月26日(火) ▶ 社保7月分 歯科は点数、件数とも増

診療種別支払確定件数及び点数

(22年7月診療分)

診療種別		件数	対前年		構成割合	点数	対前年		構成割合
			同月比	%			同月比	%	
総計		73,987	104.7	100.0		114,613,144	104.3	100.0	
医科	計	41,757	103.6	56.4		82,712,269	104.3	72.2	
	入院	808	99.6	1.1		35,896,941	106.0	31.3	
	入院外	40,949	103.7	55.3		46,815,328	103.0	40.8	
歯科		9,483	101.0	12.8		11,874,204	101.1	10.4	
調剤		22,710	108.6	30.7		20,026,671	106.3	17.5	
食事・生活療養費		704	99.2	1.0		—	—	—	
訪問看護療養費		37	114.9	0.0		—	—	—	

(注) 件数の総計は、食事・生活療養費を除く数値。点数の総計は、食事・生活療養費、訪問看護療養費を除く数値。社会保険診療報酬支払基金の統計月報を基に本紙で集計したもの。

社会保険診療報酬支払基金による平成22年7月診療分の総計確定件数は739万8千7百件、点数は1億146億1314万4千点で前年同月に比べ、件数は4.7%、点数は4.3%それぞれ増加した。

厚生省は25日、後期高齢者廃止に伴う新たな医療制度で70歳から74歳の患者の一部窓口負担割合を段階的に1割から2割に引き上げる案を、高齢者医療制度改革会議(座長・岩村正彦東京大学教授)に提示した。

28日(木) ▶ 高齢者医療制度 患者負担増に反対意見も

29日(金) ▶ 男女共同参画推進 日歯が初の全国会議

大久保会長が今後の展開に期待

日歯が男女共同参画にかかわる会議を開催した背景には、歯科大学、歯学部での女子学生の比率が4割を超えていることから、今後、女性歯科医師の割合が増加することが確実視されているが、ワークライフバランスが男性歯科医師とは異なることから、女性歯科医師が活躍できる社会環境を日歯として整備する必要性が認識されていること、家事と診療に追われて歯科医師会の運営に与りしていく時間的余裕が取りにくい女性歯科医師が増加すると日歯の組織率を低下させる要因となるとの危機感があるものと見られている。

日本歯科医師会は男女共同参画に関する初の全国的な会合「都道府県歯科医師会男女共同参画推進検討会議」を27日、東京・市谷の歯科医師会館で開いた。開会あいさつで大久保満男会長は「会長選挙の際から重要な政策案として男女共同参画を掲げており、今回の会合が持てたことには大きな意義がある」と述べ、推進検討会議の今後の展開に期待を示した。

11月1日(月) ▶ 特例措置廃止 税負担139万円の増加

日歯らが税制改正要望でシミュレーション

4日(木) ▶ 生きがいを支える国民歯科会議

「健康寿命の延伸」に期待

日歯に提言 シンボで市民にも発信

社会保険診療報酬の特例措置が廃止されると139万円(税負担が増すと)のシミュレーション結果を日本歯科医師会と日本歯科医師連盟が発表した。「税制改正に関する要望」での社会保険診療報酬の所得計算の特例措置(四段階制)存続が廃止された場合の影響として計算したもので、同診療報酬の事業税非課税措置が廃止された場合についても37万円の税負担になるとしている。

日本歯科医師会の「生きがいを支える国民歯科会議」は、歯科医療に対して、活躍の場を診療所のみならず地域社会へ展開し、「健康寿命の延伸」に寄与することを目指すとの提言をまとめた。

提言を発表した会議議長の大島氏は、「提言について大きく三つの意味がある」と説明。一つ目として、「今までの歯の治療から脱却をして、食べる幸せ」という意味をはっきりと打ち出す歯科医療に転換してもらいたい。これは、歯科医療はそもそも何なのかという議論から出てきた結果。食べることの意味までを考える医療を求めてほしいと強調。

二つ目として、「歯から口腔へ。歯周病とむし歯の治療に特化していたが、食べることを考えると守備範囲は、咀嚼・嚥下までを考えてほしい」とした。さらに三つ目として、「寝たきりなどで医療を求めている人は、高齢社会の中でどんどん増えていく。そういった人たちに、診療室に来るならば診てあげましょうという姿勢では、本来の医療としていかかということも含めて診療室から出てほしい」と訴えた。

第18回 社会保険部検討委員会報告

平成22年10月2日(土) 16:00~19:00

1. 報 告

1) 9月新入会員 なし

2) 各小委員会 9月4日(土) 検討委員会終了後

・2010年11月 支部社保講習会

・「歯科訪問診療と介護保険」改訂版

3) 新入会員社保研修会 9月4日(土) 出席9名

4) 支払基金幹事会 9月13日(月) 酒井会長

平成22年6月診療分

・前年同月対比 支払額：99.6% 件数：99.2%

・前 月 対 比 支払額：113.0% 件数：111.2%

平成22年5月診療分レセプト1件当りの平均点数

・本人 岡山県 1,303.7点 全国平均 1,297.7点

・家族 岡山県 1,041.4点 全国平均 1,062.5点

5) 集団指導(指定更新) 9月16日(木) 薬業会館 西岡理事

6) 2010年11月 支部社保講習会小委員会 9月18日(土)

7) 個別指導 9月22日(水) 薬業会館 新規6医療機関 非会員

8) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会 9月28日(火) 伊丹常務理事

新規指定医療機関 5医療機関

9) 社保相談窓口報告

10) 国保審査委員会報告(岡山県歯科保険医療費)

平成22年5月診療分レセプト1件当りの平均点数

・岡 山 県 国保 1,345.3点 後期高齢者 1,586.0点

・前年同月対比 国保 101.5% 後期高齢者 100.6%

2. 行事予定

1) 平成22年度 社会保険指導者研修会 10月5日(火) 10:30 日本教育会館

2) 日本歯科医学会実施「タイムスタディ調査」の内容に関わる説明会

10月5日(火) 15:20 日本教育会館

3) 平成22年10月 保険医療関係機関連絡会議 10月7日(木) 14:00

伊丹常務理事, 小林理事, 西岡理事

4) 平成22年度中国地区社会保険担当者連絡協議会

10月30日(土) 12:30 ホテルグランヴィア岡山

5) 第19回 検討委員会

11月6日(土) 16:00

3. 協 議

1) 検討委員会からのお知らせ

2) 「2010年11月 支部社保講習会」スライドプレゼンテーションについて

公衆衛生部

岡山県歯科保健研修会のお知らせ

学校及び地域における歯科保健意識の高揚と口腔保健活動の充実をはかるため、下記の要領で研修会を開催致します。歯列・咬合の育成の大切さ、喫煙防止教育の重要性について、と健康教材を通して体について考えることとお話ししていただく予定です。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

記

日 時 平成23年1月13日(木) 10:00～15:00

会 場 岡山衛生会館 三木記念ホール

演題・講師 1. 「学校歯科保健活動の意義と今後の展望」

鶴見大学歯学部 小児歯科学講座教授 朝田 芳信

2. 「瞳が輝く健康教材と＜体の小宇宙＞を旅して」

～NHK映像教材の制作現場から～

大分大学教育福祉科学部 健康教育学講座教授 住田 実

第6回摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会 初級コースを終えて

この研修会は、平成22年4月14日(水)から7月28日(水)まで9回コースで開催された。全9回の受講と試験を経て修了書を発行し、地域や職場、現場の臨床に役立ててもらうものである。超高齢化社会になり、医療は大きく変化してきている。毎回、専門職種の講師をお招きして充実した内容の研修であった。今年は、看護師・管理栄養士・栄養士の方が多くなり、過去最高の218名が受講された。アンケートの結果では、多くの受講者が満足されているようである。なお、今回より「岡山大学公開講座」になり、受講職種の制約はなくなった。第7回の同コースを来年度も開催する予定である。

(理事 池田泰章)

「第74回全国学校歯科保健研究大会」茨城県つくば市で開催



第74回全国学校歯科保健研究大会が茨城県つくば市にて10月28日、29日の両日に開催されました。「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」というテーマの基に本大会のサブテーマを「生きる力を考える・・・学校・家庭・地域社会の連携の在り方」とし、初日は開会式ならびに全日本学校歯科保健優良校表彰が行われ、奨励賞として岡山県からは備前市立日生小学校、岡山県立岡山操山中学校、岡山県立東備支援学校の三校が表彰されました。午後

からは記念講演として岡山大学歯学部小児歯科学講座の岡崎好秀先生が「歯科医師から見た健康教育 太陽型VS北風型健康教育」というテーマで講演をされました。その後シンポジウムが開催され、本大会に沿ったテーマでそれぞれ学校、家庭、地域からのシンポジストを迎え、それらの連携の在り方について討論がありました。大会2日目には実践発表が地元の茨城県筑西市竹島小学校からあり、歯・口の健康づくりの活動が報告されました。続いて領域別研究協議会が各部会（保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援教育）ごとに開催され、多くの養護教諭を始め学校歯科医がそれぞれの担当の部会に集まり熱心に協議を重ねていました。午後からはそれぞれの部会の報告が行われ、本大会の総括として大会宣言が採択されました。ついで全体協議会が行われ今後の本大会の方向性や次年度のサブテーマについて協議がなされ、次年度の大会を愛媛県松山市で開催する事を決定し幕を閉じました。

毎年この大会を担当運営する各県の大変な苦労が伺えるが、来年の愛媛県大会からは大会の日程や内容を再検討し、より中身の濃い、多くの学校歯科保健関係者が参加しやすいように変えていくとの報告があり期待したい。

(副会長 黒住正三)

広島国税局管内税務指導者協議会

広島国税局管内税務指導者協議会が、平成22年10月25日(月)、広島県歯科医師会館 6 階ホールで開催され、岡山県からは青色申告会の藤井副会長、西田専務、南の 3 名、また適正申告推進モデル地区の倉敷市より野村理事の計 4 名が参加した。

会議は、まず第 1 部として各県青色申告会の役員による内部協議が行われたのに続き、広島国税局の方を交えての協議が行われた。

第 1 部では、藤井副会長の開会挨拶、日歯青申連 芦浦 文佳常任理事より日歯青申連報告の後協議となり、公益法人化に伴う日歯・各県青申会の存続の是非、存続するのであれば組織内の所属について協議がなされた。また各適正申告推進モデル地区からは事業の実施状況、税務調査の状況等の報告がなされ、倉敷市からは「モデル地区事業も20年以上を経過し、青色申告の普及率が90%を超えた現在、現状に即した形に見直すべきではないか」との提案がなされたが「普及率だけではなく、今後共適正申告の普及をお願いしたい」との回答を受け、当面継続することとなった。その後、日歯税務委員会 中村 勝文副委員長から「平成23年度税制改正の行方」、日歯青申連 岡崎 剛嘱託税理士から「歯科医院経営の現状」の講演があり、引き続き第 2 部の協議となった。

第 2 部では、広島国税局課税第一部 千葉 俊徳部長、広島東税務署 桂 幹夫署長他 6 名の関係者出席のもと協議が行われた。まず、千葉部長から「税務行政の現状と課題」と題し、査察・税務調査の実態について特別講演が行われ、協議では広島県から質問の、小規模企業共済・中小企業投資促進税制・中小企業者等の少額減価償却資産の取得価格の損金算入制度について議論が交わされた後、本協議会座長西田専務理事の閉会挨拶で約 3 時間の協議会を終了した。

(理事 南 哲之介)



医療管理ニュース

労災保険における「H I V感染症の取り扱い」について

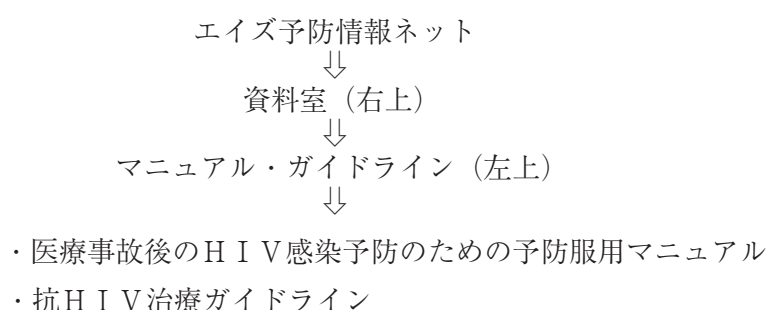
厚生労働省から通達により、医療従事者等に発生した針刺し事故等の受傷後、H I V感染の有無が確認されるまでの期間に行われた抗H I V薬投与については、労災保険の療養範囲に含まれることとなりましたのでご留意下さい。

【抗H I V薬の投与が認められる期間】 原則として受傷後4週間まで

針刺し事故等の受傷後、可及的速やかに（可能であれば2時間以内）に投与することを推奨し、4週間程度の服用が有効とされている。

【抗H I V薬の範囲】 マニュアル及びガイドラインに記載されたものに限る

詳しくは「エイズ予防情報ネット」ホームページ（<http://api-net.jfap.or.jp>）をご覧ください



学 術 部

病診連携の講習会のお知らせ

平成23年1月15日(土) 19:00から『安心・安全の歯科治療を行うために』をメインテーマに、岡山県歯科医師会5階大ホールで開催いたします。

演題1は「糖尿病患者への歯周治療アプローチの実際」で講師は洛和会音羽病院 京都口腔健康センター医長 杉典子先生です。糖尿病治療の第4の治療法といわれている歯周病治療を軸に、医科歯科連携についてもお話いただく予定です。

演題2は「歯科医院における救急救命処置と救急薬品の使用法について」で講師は、岡山大学の氏家良人先生です。今年度からは、救急薬品を氏家先生のご指導のもと、6種類に少なくします。これを機に救急薬品を常備し、その使用法についても学んでみませんか？

奮ってご参加ください。

第138回学術集談会のお知らせ

臨床医として多くの症例をお持ちの武田先生はインプラントおよび天然歯が経年的に変化することは必然と考え、長期症例を中心に検証していただきます。一方、長年病理学の立場から臨床をみてこられた井上先生は、これからの歯科医療に病態論がいかに重要かについてお話される予定です。多数の先生方のご参加お待ちしております。

日 時 平成23年1月30日(日) 10:00~16:00

会 場 岡山県歯科医師会 5階 大ホール

演 題 メインテーマ『インプラントの光と影』

<講演抄録>



「歯科医から口腔医へ」

講師 井上 孝 先生（東京歯科大学教授）

現在、患者の安全と医療の質の保証なくして医療ができない状況に置かれています。もちろん、国民はより質の高い歯科医療を求め、患者への歯科医療の内容について説明責任は不可欠なものになりました。大学に入るために理科系のIQ（知能指数）で入学した学生に、文科系のEQ（情動指数）を高めるために教育する必要がでてきます。現実的には、教育結果（国家合格率など）が期待されている現在、教育の重要性を改めて考える今日この頃です。

さて、改めて歯科医療を見てみると、MTなる診断名により、欠損をいかにして修復するかに主眼が置かれ、診断に関わる検査や治療後の評価に用いる検査がなく、エビデンスを構築するための基盤を持っていなかったように思います。しかし、ウ蝕と歯周治療を中心に行ってきた歯科医療が、「口腔健康からの生体制御」に目覚めなければいけない時期に来ていると思います。口腔の疾病が糖尿病、動脈硬化、脳卒中、心筋梗塞などと深い関係を持つことは明らかですし、高齢化社会において、口腔乾燥や味覚、アレルギーなども守備範囲に入れなくてはならない時代に突入しています。その中で、ウ蝕治療、歯周治療、インプラント治療・・・が成り立つはずですが、これらを実現するには、今までと異なる知識、態度、そして治療技術等の習熟が必要とされるでしょう。

今回は、これからの歯科医療に、病態論がいかに重要かについて、エビデンスを得るための方法と医療

面接にも役立つところをお話しさせていただきたく思います。少しでも先生方のお役に立てれば幸甚に思います。宜しく御願ひ致します。



「健康長寿を目指すインプラント治療」

講師 武田 孝之 先生（東京都開業）

インプラント治療が一治療法として歯科界のみならず社会に認知されて20年以上が経過しました。この間に多くのインプラントの治療成績が報告され、さらに基礎研究の充実も相まって、歯科教育のコアカリキュラムに含まれるほどになりました。

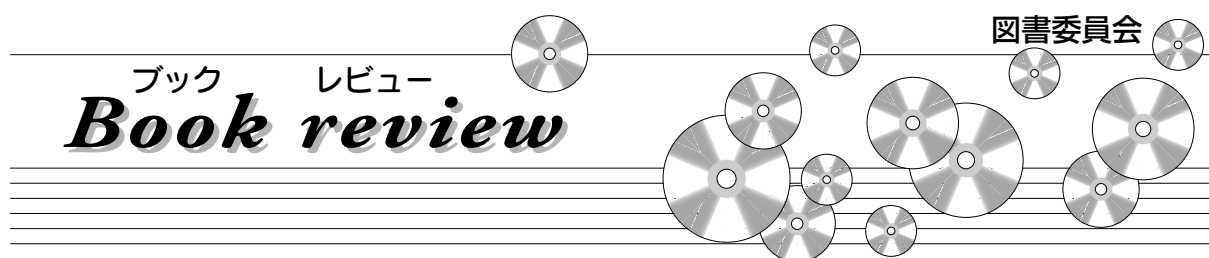
患者さんも従来の補綴法と比較して感覚的にも自然観のあるインプラント補綴を望まれる方が徐々に増えてきています。一方、失敗例、経過不良例も多くなってきており、原因と対応を講じておかないと、今後、社会的問題となることは必然と考えます。

歯を喪失してきた原因がある中で、欠損回復のみに主眼をおいて一補綴法としてインプラント治療を捉えると見誤ります。欠損が起きた原因を把握して欠損歯列の有するリスクを術者、患者ともに共有しなければなりません。さらに、欠損補綴としての効果とリスク、また、費用対効果を勘案して治療方針を決定していくことが肝要です。

患者さんは治療時に健康であっても時間の経過とともに増齢リスクは大きくなり、さらに、慢性疾患の罹患とともに全身的风险は増える一方です。そして、口腔内においても慢性持続性感染症である齲蝕、歯周病および過大な力による組織崩壊のリスクも高まるために、治療時に問題のなかったインプラントおよび天然歯が経年的に変化することは必然と考えます。

長期性という言葉から一般的にイメージされるものは、治療後安定していて再介入をせずに時間を経過したものと捉えられがちですが、私は変化することを受け入れて歯科的に介入しながらQOLを維持することを長期性、もしくは長期経過例として考えています。

そこで、これまでインプラント治療を行ってきた長期経過例をもとに、経験させていただいた様々な変化の一端を見ていただき、今後、インプラントを適用する際に考えなければならないことを発表したいと思います。



インプラント治療の骨造成法 基礎知識と臨床テクニック

高橋 哲 著

近年のインプラント治療の進歩はめざましく、現在の歯科治療はインプラント抜きには考えられない時代となりつつあります。その一方、インプラントに関する重篤な合併症や後遺症、さらには重大な事故も報告され、我々の歯科医療そのものが脅かされる危険も秘めているといっても過言ではありません。

本書では、多様化するインプラント治療の中で、日常臨床中で遭遇する機会の多い骨造成についての基本と、安全かつ確実に行うための臨床テクニックをわかりやすく解説しています。骨造成を行う先生にとって「バイブル」となりうる1冊だと思います。

インプラントのための骨採取・骨移植・骨造成テクニック —ワンランクアップに役立つ基本からアドバンスまで—

嶋田 淳 著

DVDジャーナルで構成の特徴は3つある。

1. 初級から中級、上級、エキスパートまで段階に応じたステップで学ぶこともできるし、ステップアップも可能だ。
2. 耳鼻科用の内視鏡を利用し、上顎洞上方からの映像も確認しながらの手術をみることができる。
3. 最近のピエゾサージェリーも学べる。

内容は大きく3章からなり

I. 基礎が身につく 骨採取・骨移植・骨造成のベーシック

では骨造成の基本としてGBR法と移植材について実際の3症例をあげて説明している。

II. 中・上級者をめざす 上顎洞底挙上術～ソケットリフト法・開窓法～

ではそれぞれ、自家骨の採取、移植とともに3症例ずつ説明している。しかも2症例では内視鏡を使用し、上顎洞を挙上中の状態を上方から映像で見せている。

III. “トレンドから学ぶ！” エキスパートのためのアドバンステクニック

ではピエゾサージェリーでのスプリットリッジテクニックやブロック骨移植などの実際の映像を見ることができる。

解説書も写真も多く分かりやすい。

イラストレイテッド 歯周外科 アドバンステクニク —再生療法とインプラントに挑む—

白石 和仁 著・佐竹田 久 イラスト

本書の一番の特徴は、タイトルにあるように解説にイラストを多く使用し、写真や言葉で伝わりにくいテクニックの勘所を分かりやすくしている点である。しかも、イラストの担当は現役の臨床家の歯科医師である。

もうひとつの特徴は各項目の解説の後に「失敗しないためのポイント」または「失敗症例から学ぶ」という項目があり、あえて失敗症例も提示している。

著者はトピック的な治療に歯科医師自身が振り回されることに憂い、基本治療の重要性を訴え、古典的な治療法でも現在でも有効なものは多く存在すると述べている。まずは基本術式の習得と病理・組織学的評価を徹底的におこない、段階的にステップアップしていくことが、歯周治療をひいては再生治療を成功へと導くための近道となると考えている。

本篇は「再生療法編」と「インプラント編」からなるが、著者は残存天然歯の保存に全力をつくし、安易に抜歯・インプラントと進まないことを肝に銘じて臨床に臨んでいるとあとがきに強調している。

エステティッククラシフィケーションズ 複雑な審美修復治療のマネージメント

山崎 長郎 著（クインテッセンス出版）

各種マテリアルとシステムの進化に伴い、審美修復治療は大きく発展してきたが、「審美治療」と一言で括っても、その範囲もイメージも漠然としておりその内容は多岐にわたる。

そのような中で、審美修復治療として複雑な補綴を行い、最高の審美結果を導くためには様々なガイドラインが必要となる。

本書は審美修復治療の第一人者である著者が、2つのエステティッククラシフィケーション（患者の分類、修復方法・材料の分類）を軸に、豊富な症例を通じて、そのフィロソフィーから具体的なマテリアルの選択、キーポイントに至るまでを解説している。

これでバッチリ 義歯作製のアシスタントワーク

細見 洋泰 著（クインテッセンス出版）

現在の歯科衛生士業務は、う蝕予防や歯周病に関するものが中心となっているが、高齢化社会の波が進むにつれ、歯科衛生士をはじめとする歯科医療従事者に、介護予防の担い手としての大きな期待が寄せられている。

本書は、介護予防のスタート地点である義歯作製のアシスタントワークを中心に、種々の義歯のシステムの解説、義歯のクリーニング方法、口腔のメンテナンス手法等、歯科衛生士が理解し、修得しなければならない項目が実用的にまとめられている。

日歯福祉共済・・今一度ご確認を！

現行の日歯福祉共済には4つの共済金制度があり、加入時に必要事項を登録されていますが、その後の変更が日歯に届けられていないケースが散見されます。

＊いざという時の受給に支障をきたしますので、ご確認下さい。

【現行制度の概要】

負担金…月額8,500円（年額102,000円）

30年以上加入かつ満80歳以上で負担金納付義務終了

① 死亡共済金

800万円（会員の指定した受給権者に支給、45歳未満は1,000万円）

② 火災共済金

800万円（指定物件が全焼した場合）

③ 災害共済金

800万円（指定物件が全壊又は流失した場合）

④ 障害共済金

800万円（身体障害者福祉法により障害一級、二級及び三級に認定され、歯科医師免許を返納した場合）

下記についてご確認下さい

① 死亡共済金について

- ・第三位までの受給権者の指定が可能です。
- ・指定登録後に状況の変化（お子様の出生や離婚など）があり、変更される場合には事務手続きが必要となります。
- ・変更あるいは確認だけでも構いませんので県歯事務局までご一報ください。

②火災共済金及び③災害共済金について

- ・「適用対象物件は、本会会員としての届け出の住所及び就業所の建物とする」という一項があります。
- ・多くは自宅と医院を指定物件としてご登録のことと思いますが、転居等による自宅住所の変更の届けなどが、日歯に届いていないケースも見受けられます。
- ・①と同様に、変更、確認ともに県歯事務局までご一報ください。

高齢者前払いについて

満80歳以上の年齢に達した会員は一度だけ、申請により死亡共済金800万円のうち100万円の前払いを受けることができます。当該会員でまだ未受領の先生は、県歯事務局までお気軽にお申し出ください。

津山支部

津山歯科医師会設立100周年懇親会



津山歯科医師会は平成22年10月7日、設立100周年の懇親会を開催しました。来賓はお迎えせず会員だけの懇親会でしたが、津山歯科医師会の100年の歴史を各々の会員が実感できた大変有意義な会でした。

今回は準備してくださった会務をはじめ準備委員の先生方大変きめ細やかな心配りが行き届いた演出が素晴らしい会でした。

会場は津山衆楽園内の迎賓館です。この建物はかつて津山の文化サロン『料亭 対鶴楼』を移築したもので、我々の大大先輩も会合などに利用したと記録に残っています。

前の舞台では100年の歴史をスクリーンに映し出して映像で振り返りました。大大先輩のセピア色の写真に襟を正しました。この場に出席されている現会員の数十年前の映像に度肝を抜かれ、驚嘆の声が上がりました。笑いの波が幾度となく続きました。

アトラクションには会員皆木克朗先生のお父様に蕎麦打ちの実演と指導をしていただきました。お父様はかつて教鞭をとっておられ、現会員にも多数教え子がおり、かつての英語の授業にも話が盛り上がりました。打ち立ての蕎麦が大変美味だったことは言うまでもありません。



津山歯科医師会は和の精神をモットーとしております。改めて100年を振り返ってみますと、礎を築いてこられた大先輩方も旅行や運動会など、会員の和を大変大切にしてくださったことがよくわかりました。今回の懇親会でも和の精神のもと、大変和やかに100周年を祝えましたことは各会員の心に深く刻み込まれたものと思います。

大変素晴らしい100周年懇親会をありがとうございました。

(モニター 藤田元英)

玉島支部

玉島支部旅行報告



平成22年9月19日、20日の連休を利用して、高知～松山へ1泊2日の支部旅行へ行ってきました。会員19名を乗せたバスは快晴の中、瀬戸大橋を通り一路高知を目指しました。最初の目的地は、高知駅前の「高知・龍馬ろまん社中」。全国的に盛り上がりを見せている大河ドラマ「龍馬伝」に関連する展示を行っている小規模なパビリオンです。会場に入ると、いきなり福山龍馬が我々を出迎えてくれました。日本の夜明けを疾駆した龍馬の激動の人生が紹介されていました。高知と言えば、もう1つ忘れてならないのはカツオ。昼食は、お食事処「かつお舟」で、本場のわら焼きのかつおのたたきを頬張りました。「たたきを大いに期待するも、3切れでは満足しないぞー!!」と川西幹事。

昼食後は、桂浜に行く予定でしたが、龍馬ブームのためか道が大渋滞。桂浜に立つ龍馬像に後ろ髪を引かれながらもバスはUターンして次の目的地松山道後温泉を目指しました。ホテル「道後館」に到着したのは午後3時過ぎ。「こんなにも早く1日の仕事が終わるのは珍しい」とバスガイドも本音がポロリ。道後館は、建築家黒川紀章の設計で、古きものと新しきものの共生をテーマにした佇まいはお見事の一言。温泉で長旅の疲れを癒し、宴会では郷土料理に舌鼓を打ちながら、お酒もほどよくすすみ、先生方の懇親も深まりました。

翌日は、まず松山市内にある「坂の上の雲ミュージアム」に行きました。松山出身の正岡子規、秋山好古・真之兄弟の生涯と彼らが生きた明治という時代を学び感じとれる施設です。子規は新聞記者となり、俳句、短歌の革新に力を注ぐ。一方好古は陸軍で草創期の騎兵を育て、真之は海軍における戦術の基礎を確立、ともに日露戦争が勃発する激動期を駆け抜けた。いつの時代も若者は志を忘れてはならないと痛感しました。木製の馬に乗り、日本騎兵と同じ高さを体験できるコーナーがあり、会員には大人気でしたが、馬の背に乗る好古の凛々しいお姿の横で、木製の馬に登れないふり(?)をする松井専務が皆の笑いを誘っていました。

その後、西条市内にあるアサヒビール工場へ移動して見学と昼食。原材料の大麦とホップからゆっくりと時間をかけて熟成させたビールを目にも止まらぬ速さで缶にパッケージングする様は圧巻でした。そして、待ちに待ったビールの試飲。ビールは鮮度が命、どこよりも新鮮なビールを3杯も頂きました。さらに、場内のビール園で昼食にジンギスカン料理を堪能しました。「ジンギスカンは硬くて臭いからな～」と漏らしていた先生方もその美味しさに大満足。生ビールを追加された先生、お茶漬けを特注された先生も。その後は、しまなみ海道を通り帰途に着きました。

長旅にもかかわらず、大島会長をはじめ、総勢19名が無事に帰って来れたことに感謝いたします。旅行に御参加してくださいました先生方、ありがとうございました。(モニター 佐藤嘉晃)

児島支部

お口の健康フェア2010 『歯ッピータウンin 児島』

先日11月7日(日)に児島歯科医師会ブランチプロジェクト“お口の健康フェア2010『歯ッピータウンin 児島』”が行われました。

前日の準備から多くの先生が参加され、椅子や机、看板など設営に汗をかかれました。本番当日は、9時に天満屋ハッピータウン児島店に集まり、10時にスタートしました。

今回は、児島歯科医師会の会員の先生方をはじめ、岡山県歯科医師会、倉敷市保険課、岡山県歯科衛生士会、児島地区愛育委員、児島地区栄養改善協議会のご協力を賜りました。

イベント内容を紹介しますと、「フッ素塗布」コーナーでは子供たちの口腔内を検診しフッ素塗布を行います。沢山のお父さんお母さんが子供を連れて、開始とともに我先にと雪崩れ込んできました。うれしい悲鳴です。愛育委員の方々の上手な誘導でうまく人の流れをふりわけ、スムーズに進行できました。「お口の検診と相談」コーナーでは一般の方の歯に関する相談を受け、「口腔乾燥症検査」では唾液浸潤度検査紙を使い説明し、「細菌検査」ではRDテストを行い、「口臭検査」ではブレステロンを測定しました。「咬合力検査」も大人気で、検査コーナーは椅子が空く間がありませんでした。

今回から新企画のスタンプラリーを開催し、各コーナーで“もも丸スタンプ”をもらい、スタンプ3個で“がらがらポン”(福引)を行いました。1等賞は、音波歯ブラシで、285本のいろんな景品を用意しましたが、がらがら！ちりんちりん！の音と共に、瞬く間に全て出尽くしました。またその隣では、有志の先生方による四苦八苦しなごらのバルーンアートコーナーが開かれ、刀・ライオン・プードル等いろいろ作製し、子供たちが欲しがめる物を作りあげていました。失敗して風船のパン！と割れる音もご愛敬です。

栄養改善協議会では「よく噛んで腹八分目」というタイトルで食事指導を行い、岡山県歯科衛生士会の歯科衛生士さんは「健口アンチエイジング」というタイトルでぶくぶくうがいの説明をし、口腔機能の低下をいかに抑えるかを自ら顔の筋肉を動かして説明していました。中央の舞台では、歯ブラシの使い方などを絵や模型を用いて説明し子供たちに好評でした。

県歯からは、公衆衛生の先生方においで頂き、歯科疾患実態調査もかねた成人・高齢者の歯科検診を行いました。もう一つ忘れてはいけないのが、県歯のキャラクター“もも丸君”の登場です。子供たちが集まり押しくら饅頭状態で大変な人気でした。

およそ700名の老若男女が来場し、15時に忙しい一日が終わりました。休日にお手伝い頂いた皆様お疲れさまでした。

(モニター 高森明治)



倉敷・児島・玉島・都窪・吉備支部

倉敷市内歯科医師会合同セミナー

「平成22年度介護保険セミナー」開催のご案内

お口から生きる喜びを
ー宝田恭子の老けない作法ー
～誰でもできる 表情筋エクササイズ～

標記セミナーを下記の要項で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

日 時 平成23年 2 月13日(日)

9 時30分～12時45分

場 所 くらしき健康福祉プラザ 5 F大ホール（倉敷保健所隣接）

講 師 宝田歯科医院 院長 宝田 恭子 先生

会 費 無 料

主 催 倉敷市内歯科医師会協議会

(社)倉敷歯科医師会 (社)児島歯科医師会 (社)玉島歯科医師会
都窪歯科医師会 吉備歯科医師会

問い合わせ先 (社)倉敷歯科医師会

T E L 086-422-2122

F A X 086-426-9200

駐車場あり

日歯生涯研修カード持参下さい

新見支部

学校保健会

8月26日、岡山県学校保健会新見支部の研修会を開催いたしました。研修会は毎年夏休みに開催され、医、歯、薬が順番に担当、本年度は当歯科医師会の担当で口腔衛生に関するテーマで行いました。当日は医、歯、薬剤師会および教育関係者等41名の出席のもと、公衆衛生部より柴田宏先生をお迎えし講演会を開催、盛況に終えることができました。(宮地芳之)



県学校保健会新見支部が歯科衛生研修(吉田支部長)は、歯の衛生に心がかけられ80歳になっても自分の歯を20本以上保てる実例を紹介した。また、虫歯の人や健康な人の口の中を写真で示しながら歯周病の恐ろしさを調。ばい菌の温床になっている。この日は吉田支部長あいさつに続き、県歯科医師会の公衆衛生部委員で倉敷市で歯科医院を開業している柴田宏氏(千屋花見出身)が「ほんとは楽しい学校保健」と題して講演し写真左。日本の児童生徒は大きく歯の健康に大きく影響していることを述べた。(逸見)

(備北民報 9月3日掲載)

笠岡支部

第3回ランチプロジェクト



10月24日(日)笠岡歯科技工専門学校において、第37回歯科技工祭がおこなわれました。

今年も岡山県歯科医師会笠岡支部におけるランチプロジェクトを同時に開催させていただきました。

『歯科なんでも相談』として、午前と午後の2部構成で計4名の先生が、歯科技工祭に

訪れた人の中で希望される方の相談に乗ってあげました。相談を終えられた方には、昨年同様歯ブラシとミラーを差し上げて今後とも口腔の健康維持に努めるよう指導されました。相談まではといわれる方にも多数アンケートにご協力いただきました。



歯科技工祭は、生徒の作品展示や、模擬店、ストラックアウト、ビンゴゲームなどで盛り上がっていました。生憎の空模様となりましたが、多数の方に来ていただきました。歯科医師会としても歯技祭を盛り上げ、地域の口腔の健康に関する啓発を続けていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願いいたします。

(モニター 井上勝哉)

「達成感」

玉島支部 田村 彰 規

何をもって達成感をもつのだろうか、最近そんなことを考えるようになりました。

学生時代はバドミントン部に所属し、スポーツ的には聞こえは軟弱ですが、ハードなスポーツです。時速0～200kmのシャトルの速さについていくためコート内をすべるように走り回っていました。上手い先輩に勝てるよう練習し、技を習得し、それで勝てた時の喜び、それこそが達成感を感じた瞬間でした。

開業してから半年ほど経ちますが、開業する前から疲れ果て、開業してからも雑用に追われ一息つく間もなく、現在に至っております。歯科医師として仕事を続けていくには、医療技術についていくのは当たり前、患者さんを治すのも当たり前。当たり前の世界にいるから達成感をもてないのであるでしょうか？そうではなく、まだまだ未熟な自分であるがため、達成感はないのであらうと思っております。まずは、雑用に追われることのない日を目指そうと思っております。

家庭に入ると、1歳半の息子がいるのですが、この子が日に日に成長していくのを見るのが楽しみです。子供は、ひとつひとつのことが、新しいことであり何にでも達成感をもっています。一つの動作ができなくても何度も何度も繰り返し、それができれば、こちらを見て「ニコッ」としてみせて「できた」とアピールしてきます。そんな姿を見たいと思っているのですが、なかなかそんな時間もとれず、妻にまかせっきりになっています。



そんな子供の姿をみて、ゆとりのある生活こそが達成感をもてるものではないかと思っています。たしかに、大学時代、勉強はちょっとだけで、部活にバイトに明け暮れてはいたものの、ゆとりは今よりかなりあったと思われます。開業して間もないですが、早く雑用におさらばして、バドミントンとは言わないが何かスポーツができるように頑張っていきたいと思います。

そうすれば、ゆとりの先に何か達成感が生まれてくるのでは……。

歯科医師としてではなく、一人の人間として……。

次回は 井上栄徳 先生（岡山支部）をご紹介します。

全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 岡山

■主催・共催・後援（予定含む）

主 催：日本禁煙科学会，禁煙健康ネット岡山，禁煙マラソン

共 催：岡山県薬剤師会

後 援：健康日本21全国推進会議，（社）岡山県歯科医師会，（社）岡山県歯科衛生士会

■日 時：2010年12月19日(日) 9：45～16：00

■場 所：岡山大学 津島キャンパス

教育学部 本館4階 401講義室

■対 象：禁煙支援に携る全ての職種の皆様（医療従事者，教職，行政職等）

■参加費：5,000円 学生無料

■プログラム：

9：00～ 受付開始

午前 禁煙支援のエビデンス のだ小児科 野田 隆先生

禁煙支援の心得 禁煙マラソン 三浦秀史先生

薬剤師の禁煙支援 伊藤内科医院 伊藤裕子先生

12：00～13：00 ランチョンセミナー「なるほどザ 防煙教育」

岡山大学病院小児歯科 岡崎好秀先生

午後 妊娠期“マイナス1歳からの禁煙支援” ハロー歯科 滝川雅之 先生 20分

子どもの禁煙支援（課題） 岡山赤十字病院 渡邊洋一 先生 30分

女性の禁煙 奈良女子大学 高橋裕子 先生 20分

子どもたちへの防煙教育 岡山大学教育学部 山口立雄 先生 30分

ワーク「禁煙の効用ア・イ・ウ・エ・オ」

岡山大学病院小児歯科 岡崎好秀 先生 30分

15：20～16：00 全てに答える禁煙支援Q&A

16：00～16：30 日本禁煙科学会認定試験（希望者）

■単位認定：全国禁煙アドバイザー育成講習会2点，日本薬剤師研修センター受講

シール4点を取得できます。

■申込先：受付窓口担当（禁煙マラソン事務局）87adk-kanagawa@kinen-marathon.jp

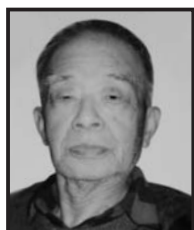
※講習会へ参加ご希望の方は，「第87回禁煙アドバイザー講習会申込」と明記し，メールにて直接お申し込み下さい。

※詳細については，禁煙科学会の全国禁煙アドバイザー育成講習会をご覧ください。



訃

報



故 船曳 淳一 先生

享年 81才（平成22年10月24日ご逝去）

倉敷市水島西弥生町 4 - 23



故 山脇 正臣 先生

享年 68才（平成22年11月 9 日ご逝去）

倉敷市八王寺町37-20

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

会 員 異 動

10月末日現在 正会員数 1,045名

◎番号の変更

平川 康一 正会員 P19 岡山支部
 （新）〔診〕 FAX (086) 267-1258

◎死亡

船曳 淳一 正会員 P34 倉敷支部
 山脇 正臣 正会員 P35 倉敷支部

(P = 会員名簿のページ)

12月の収納金

1. 本 会

- (1) 診療報酬収入割負担金（社保、国保 9 月診療の窓口分を含む総診療費の
 $\frac{2.8}{1000}$ を社保分から控除）
- (2) 共済事業部会新共済費（後期） 15,000円

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割, 均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料 (平成21年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$)

3. 日本歯科医師会

(1) 年金拠出金 (1月分)

(2) 福祉共済負担金 (1月分)

10月 会の動き

1日	編集委員会 日学歯 公益法人制度改革検討委員会	12日	学術部正・副委員長会 支払基金幹事会
2日	第8回フォーラム「8020」(名古屋) 社保 審査・検討小委員会 社会保険部検討委員会	13日	第3回支部長連絡協議会 編集小委員会
3日	岡山県医師会「県民公開講座」	14日	理事会 編集委員会
4日	会館・広報合同小委員会 文化事業部会委員会 検死		日学歯 長野県学校歯科保健大会 岡山県歯科保健優良校表彰等審査会
5日	第4回岡山県保健医療計画策定協議会 平成22年度社会保険指導者研修会 タイムスタディ調査の内容に関わる説明会 本会学院 入試委員会	15日	生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康つくり調査研究事業発表会
6日	平成22年度岡山県四師会懇談会 第59回日本口腔衛生学会・総会 県 健康推進課との面会	18日	文化事業部会委員会
7日	理事会 編集委員会 岡山市歯科医師会三役と面談 第2回学校保健推進協議会 平成22年10月保険医療関係機関連絡会議 小児歯科医学会公開講座主催者 藤原長崎大学教授と面会	19日	岡山県歯科技工士国家試験委員会 社保研修会 検死
8日	岡山県歯科保健優良校表彰事前審査会	20日	公衆衛生部正・副委員長会 日学歯 三役会
9日	平成22年度九州・中国・四国地区歯科医師会役員連絡協議会(徳島) もも丸くん出向(和気支部ランチ)	21日	理事会 編集委員会 岡山大学歯学部臨床教授へ出向 母子保健計画評価検討会議 中国四国厚生局と面会 検死
10日	もも丸くん出向(真庭支部ランチ)	22日	県庁(県議会)への出向
		23日	四国地区歯科医師会役員連絡協議会等 (~24日 高知) 日学歯 八戸学校歯科医会80周年記念祝賀会 レクリエーション大会「麻雀」 本会学院 推薦入試

- 24日 四国地区歯科医師会役員連絡協議会
レクリエーション大会「釣り」「ボウリング」
- 25日 厚生部文化小委員会
平成22年度広島国税局管内税務指導者協議会
- 26日 学術部正・副委員長会議
厚生部文化事業部会打合せ
中国地方社会保険医療協議会岡山県部会
- 27日 医療管理部正・副委員長会
都道府県歯科医師会男女共同参画推進検討会議
日学歯 理事会
- 28日 第74回全国学校歯科保健研究大会
(～29日 茨木)

- 日歯会長選挙選挙人抽選会
- 29日 岡山県学校保健会第3回理事会並びに表彰審査会
本会学院 推薦入試合否判定委員会
- 30日 平成22年度中国地区歯科医師会役員連絡協議会等
平成22年度中国地区歯科医学大会(～31日)
- 31日 平成22年度日本歯科医師会生涯研修セミナー(併催)
岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会(併催)

12月・1月 本会の予定

12月1日 編集委員会

岡山市歯科医師会忘年会

日学歯 PR委員会

2日 理事会

4日 岡山県歯科保健優良校等表彰

日本歯科医師会平成22年度警察歯科医
身元確認及び災害コーディネーター研
修会大阪歯科大学岡山県同窓会平成22年度
総会

8日 編集委員会

9日 理事会

11日 社保 審査・検討小委員会

社会保険部検討委員会

13日 平成22年度歯学部教授会忘年会

支払基金幹事会

15日 編集委員会

岡山県老人クラブ連合会平成22年度
「健康づくり・介護予防リーダー養成
講習会」

16日 理事会

17日 編集委員会

18日 本会・関連団体役員合同懇談会

19日 対外広報 もも丸くん出向(都窪支
部)

都窪支部「救急蘇生講習会」

第10回つくばお口の健康フェア8020

成人の無料歯科健診事業(都窪)

1月5日 編集委員会

6日 理事会

13日 理事会

編集委員会

20日 理事会

編集委員会

22日 中国・四国地区歯科医師会会長・日歯
代議員合同会議(愛媛)

24日 編集委員会

26日 医療管理部正・副委員長会

27日 理事会

30日 第138回岡山県歯科医師会学術集談会

12月・1月 支部の予定

12月 1日 岡山支部忘年会 御津支部社保講習会 真庭支部理事会・忘年会	22日 倉敷支部理事会 津山支部理事会 吉備支部理事会
2日 津山支部定例会・臨時総会	
3日 児島支部理事会	1月 6日 津山支部定例会・新年互礼会
4日 赤磐支部役員忘年会	8日 玉島支部新年会
5日 倉敷支部学術講演会 児島支部108回ゴルフ部 高梁支部忘年会	11日 新見支部理事会
10日 岡山支部第16回理事会 井原支部臨時総会	14日 岡山支部第18回理事会
11日 新見支部研修会・理事会	18日 小田支部勉強会
12日 岡山支部会長・監事選挙投票日	20日 岡山支部監事会 勝・英支部定例会
14日 新見支部理事会	22日 吉備支部新年会
21日 岡山支部第17回理事会 小田支部勉強会	24日 津山支部理事会
	25日 岡山支部新入回説明会
	28日 岡山支部第19回理事会 倉敷支部理事会

「岡歯会報」表紙に今後ご注目！！

郷土岡山の自然の趣きを見事に表現された浅野征大先生の作品に引き続き、平成23年1月号より1年間「岡歯会報」の表紙を飾っていただく作品を、倉敷支部の田辺省二先生よりご提供頂きました。

素晴らしい作品ばかりですのでどうぞ、楽しみにしててください。

作品タイトル

1月号 「昇 陽」	2月号 「雑 木 林」
3月号 「ベニシジミ」	4月号 「酒津夜桜」
5月号 「湖畔新緑」	6月号 「延 養 亭」
7月号 「群 生」	8月号 「飛 蝶」
9月号 「テトラポット」	10月号 「国分寺五重の塔」
11月号 「四季図・秋彩幻影」	12月号 「冬 日」

* こちら編集室 *

高
務

「終わる2010年、そして」

朋将 今年も残り少なくなってきましたが、皆さんの記憶に残る2010年とはどのようなものでしたか？。私の記憶では曖昧なので今年のニュースをまとめました。

年頭にはセレブな職業の代名詞であったJALが経営破綻、2月には自由奔放な行動をとってきた横綱朝青龍が引退。その後のバンクーバーオリンピックで記憶に残るのは男子フィギュアスケートで見事に銅メダルを獲得した岡山出身の高橋大輔選手と「今時の若者らしい」自由な振る舞いで日本中のバッシングを一身に集めたスノーボードの國母和宏選手でしょう。

春には大きな2つの天災（中国青海省の地震とアイスランドの火山噴火）が起こり、噴火の影響で空の交通が大混乱に。その後中国が上海万博を開催して大成功をおさめました。対照的に日本では民主党の鳩山内閣が「子供手当」支給の翌日に総辞職を表明。この頃発売されたアップルのiPadとiPhone4、私を含めて購入された先生も多いのではないのでしょうか？。

夏には「あんなに危険な国で本当に開催出来るのか？」と開催を危ぶまれたワールドカップが厳戒態勢のもとで無事（？）に開催され、日本は見事ベスト16！。「野球賭博問題」が報道されて親方衆の解雇にまで発展して角界の信頼は失墜、NHKのテレビ放送が自粛される異例の事態になりました。参議院選挙で国会が捻れたかと思えば行方不明の高齢者問題が発覚して戸籍管理の杜撰さが明らかに。チリの鉱山で落盤事故が起こり当初は絶望的との見解でしたが、2ヶ月後の奇跡の救出劇に世界中が感動しました。

日本最高記録の残暑だった9月には尖閣諸島の漁船衝突事故が勃発、「ムネオハウス」で知られる鈴木宗男議員が実刑になったかと思えば厚労省の村木厚子局長は無罪に。その過程で大阪地検特捜部の主任検事が証拠隠滅を謀った事が露呈、検察の根底を揺るがす大失態でした。この頃小沢一郎に勝った菅直人首相が、今では支持率が30%程度まで急降下。鈴木章、根岸英一の両氏がノーベル化学賞を受賞、日銀がゼロ金利政策を打ち出し「第3回事業仕分け」が始まりました。

アメリカのオバマ大統領率いる民主党が歴史的な大敗をした一方でロシア大統領が北方領土を訪問し、時を同じくして極秘資料であったはずの漁船衝突事故動画が現役海上保安官によりYouTubeに「流出」して賛否両論の話題になっています。

こうしてみると明るいニュースが、多くの暗い話題や事件に埋もれてしまった感が強い2010年。来年はウサギ年、我が家のウサギのようにノンビリと平穏な一年である事を期待したいものです。

日本の保険は、ジャパンが変える。

保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る個人用自動車総合保険「ONE-Step」やインターネットによる契約と行き先別にリスクを細分した新・海外旅行保険「off! (オフ)」など。

あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。

21世紀、日本の新しいライフスタイルに合った高品質の安心を力強く、ご提供します。



損保ジャパン

株式会社 損害保険ジャパン

岡山支店 営業課
〒700-0913 岡山市北区大供1-2-10 損保ジャパン岡山ビル
TEL:086(225)1045 FAX:086(225)1220

SJ05-12524 (2006.3.1)

損害保険・生命保険の総合コンサルタント



ONE Step

所得補償保険・自動車保険・火災保険
生命保険等 先生方一人一人にあった
アドバイス・提案をさせていただきます。

損害保険主力商品 (引受保険会社: 損保ジャパン)

- ・岡山県歯科医師会団体所得補償保険 (**団体割引30%**)
- ・個人用自動車総合保険 (ONE-Step) ・火災保険 ・傷害保険 ・その他損害保険全般
- *自動車保険・火災保険につきましては、診療報酬から引き去りの集団扱制度をご利用いただけます。(その場合は、集団扱一括割引等により保険料が**通常より約5%割安**になります。)(集団扱契約としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの条件を満たす場合のみとなります。詳細については取扱代理店または損保ジャパンにお問い合わせください)

THANK YOU



© JAPAN-DA

生命保険主力商品 (損保ジャパンひまわり生命)

- ・医療保険 健康のお守り (新終身医療保険 医療保険 08)
- 日帰り入院から保障、先進医療・三大疾病入院一時金等付帯可能

損害保険・生命保険ともに詳細については、ご連絡いただけましたらご説明させていただきます。

〈取扱代理店〉 株式会社ジャパン保険 岡山

大正6年創業 代表取締役社長 木口昌則 代表取締役会長 江見昌造

〒700-0913 岡山市北区大供1-2-10 損保ジャパン岡山ビル 5階

TEL 086-231-2840 (代表) FAX 086-231-2890

URL <http://www.sompojapan-ag.com/a/y-oag/> E-MAIL office@y-oag.com

(SJ09-08496 2010/02/10)

患者さまの満足度100%を目指して!!

統合電子カルテシステム

Hi Dental Spirit XR

ハイデンタルスピリットXR

レセプト
電子請求に対応!

セキュリティ
iRDB



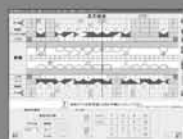
●視診検査・歯周検査
無線入力端末 (PDA)

カルテの真正性

視診検査



歯周検査



カルテ作成



治療説明
「i-Spirit」



先生の便利をひとつに集約した、
画期的なシステムです!

指導箋文書



画像管理



予約管理



<地域密着 即行く、即やる>



<サポートは私たちに
おまかせください>

◎日立特約店 お客様の満足が私たちの喜びです。



東和ノイシステム株式会社

本社 〒700-0971 岡山市北区野田3丁目12-33 FAX 086-243-6838

TEL 086-243-3003(代)

<http://www.towa-hi-sys.co.jp>

UCLA、北京大学口腔医学院、
 トルク大学をはじめ、誰もが
 世界のリーダー格と認める海外の大学と
 双方向交流を続ける、わたしたち朝日大学。
 短期留学制度を持つ大学は多くても
 交流大学からの学生の受け入れをも
 継続的に行っている歯科大学は、わずかです。
 「国際性豊かな歯科医師の育成」という
 私立大学としての「建学の精神」が、そこにあります。
 また可能な限り低額に設定した学費も、やはり
 歯科医学を志す全ての若者にそのチャンスを、
 というフィロソフィーに基づいています。

3つの附属医療機関。
 358床を有する医科歯科総合病院（附属村上記念病院）。
 最先端の医療現場に直結し
 全身管理を学ぶ理想的な環境。
 鍛える。育てあげる。卒業後もサポートする生涯学習。
 真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ歯科医師へ…

さあ、未来へ急ぎましょう。

2011年度入試情報

入試区分		出願期間	試験日
AO入試	Ⅱ期	12/ 1 ~ 12/15	12/18
	Ⅲ期	3/ 1 ~ 3/25	3/27
一般入試	Ⅰ期	1/ 6 ~ 1/20	1/27
	Ⅱ期	2/ 4 ~ 2/25	3/ 3
大学入試センター試験 利用入試	Ⅰ期	1/18 ~ 2/10	2/19
	Ⅱ期	2/21 ~ 3/ 7	3/14

**試験会場を
2会場新設。**
 |広島会場 一般入試Ⅰ期
 2011年1月27日
 |大阪会場 一般入試Ⅱ期
 2011年3月3日

**初年度納付金を
大幅減額し、
入学時のご負担を
軽減しました。**

入試日程

Experience

朝日大学
<http://www.asahi-u.ac.jp/>

歯学部

大学院歯学研究科 歯科衛生士専門学校

附属病院 附属村上記念病院 PDI岐阜歯科診療所

FD : O12O-O58-327

E-mail : nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

平成22年12月1日発行（毎月1日発行）
昭和42年4月3日 第二種郵便物認可

岡歯会報

12月号

通巻第七六七号

定価一〇〇円

編集人

中村 慶男

発行人

酒井 昭則

発行所

岡山市北区石関町一―五
岡山県歯科医師会（購読料は年会費に含まれる）

